

臨床研究に関する公開情報

国立病院機構西新潟中央病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法等についてお知りになりたい方や、この研究のためにご自分のデータが使用されることをお望みでない方は、下記「問い合わせ先」に連絡をお願いします。なお、個人情報や、研究の知的財産等、お問い合わせ内容によっては、お答えできない場合もありますのでご了承下さい。

記

[研究課題名]

Early Detection of Radiation Pneumonitis on Cone-Beam CT Images During a Course of Radiotherapy (放射線治療中のコーンビーム CT 画像による放射線性肺炎の早期発見)

[研究責任者]

放射線科 安住利恵子

[研究の目的]

当院に導入された放射線治療装置に付属されている位置決め CT は、解像度が非常に向上し、従来は見えなかった肺野の状況もわかるようになった。

放射線肺炎は、放射線治療後に起こる重篤な副作用であり、治療終了時から早く発症するものほど予後が悪いといわれている。放射線治療経過中にこの位置決め CT で肺野を注意深く観察することにより、放射線治療後半には非常に淡い肺野の異常が発見され、放射線肺炎の早期発見ができた症例があった。重篤になる前に放射線治療を中断する事や、早期に治療が開始されて、これらの患者さんは放射線性肺炎の良好な改善が得られた。これらの症例と従来当院での放射線性肺炎の症例との比較をおこない。今後の放射線肺炎重篤化を防ぐための方策を考えてゆきたい。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

肺がんの患者さんで 2015 年 1 月～2021 年 1 月までに肺野に放射線治療を受けた方

●研究期間 院長承認から 2022 年 4 月 1 日～

●利用する検体やカルテ情報

・カルテ情報：

診断名、年齢、性別、検査結果（血液検査、画像検査）

●検体や情報の管理

照射情報（年齢、性別。照射部位、治療方法）は全国放射線治療学会データベースに登録しております。これに同意された方の情報のみでの作成です。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者及び検体や情報の提供先である安住利恵子が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

国立病院機構西新潟中央病院

所属：放射線科

職名：医師

氏名：安住利恵子

電話： 025-265-3171（代表）